

いちご作りに夢を求めて

金井いちご園経営 金井繁正

将来、「プロ野球選手になりたいな」「サッカー選手になりたいな」「オリンピックへ行きたいな」。いつの頃からかそんな夢見心も忘れ、日々生活をおくっていました。

会社で夜勤日勤を繰り返していた私は、25歳頃から本を読み、多くの人と話し、理想の自分探しを始めました。そんな時、妻の叔父さんがいちご農園を経営しており、話しているうちにその人柄と感性に惹かれ、「俺もこんな50歳になりたい」と、夢を抱きました。すぐに弟子入りし、徹底して基礎から叩き込んでいただき、28歳で新規就農し、もともと実家にある農地を利用、ハウスを建て、いちご園の経営がスタート。まだまだ勉強不足ですが、妻や両親の協力、叔父さん(先生)の熱心な指導を受け、近隣の方々のご理解のおかげでいちご栽培に集中できる環境にとっても感謝しています。

現在32歳、5シーズン目を迎えました。早朝3時から収穫に入り、9時の開店までのいちご詰めに忙しく毎日を送らせてもらっています。自宅の直売所販売が主で、JAたかさきの直売所にも置かせてもらっています。

より新鮮で安全・安心ないちご作りを心がけ、自宅用に、贈答用、お土産、景品に、プレゼントなどに使われています。全国宅配の注文も行っていて、遠方の方にも利用してもらえるような工夫もしています。

更に今年から、近くの牧場のミルク工房さんの協力の下、うちで栽培したいちごを使って作っていただいたオリジナルジェラートも販売していて好評です。色々なお客様の意見

に耳を傾け、取り入れていけたらと思っています。

近年では地産地消に取り組む学校が増えています。JAさんからの紹介もあり、うちのいちごを是非使いたいと多くの小中学校、保育園から依頼していただけるようになりました。

子供たちが学校で食べたいちごを探し求め、わざわざ直売所まで来てくれたり、いちごを持って行ったときの「いちごだぁ〜」と喜ぶ園児の笑顔。いちご農家になってよかったと思う瞬間と、もっとおいしいいちごを作り、食べてもらいたいという気持ちになります。

「おいしいよ」との感想や「がんばってね」と応援、励ましの言葉、「生り物だからね」と天候や、こちらの都合まで考慮してくれるお客様。素敵な人たちに支えられ、接することで私は成長させてもらっています。そんなお客様の笑顔のために試行錯誤を繰り返し、常に最良のいちごを求める日々を送っています。

ここでは細かな栽培のこだわりには触れられませんが、「いちご農家」はとても奥が深く、体力のいる仕事ですがやりがいがあります。夏場40度を超えるハウス内での苗管理。良質な有機肥料中心のこだわりの土作り。収穫に販売。

一日一日を大切にし経験を積むことで、高品質ないちご作りをしていきたいと思っています。そして、お客様の素敵な笑顔が広がるお店にしていきたいです。農業経営には色んな可能性と夢が詰まっています。目標を持ち、楽しんでいきたいですね。

(かない しげまさ)